

(写し)

平成 29 年 7 月 19 日

水戸市長 高橋 靖 様

水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議
座 長 佐川 泰弘

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業の評価等について（意見）

当会議におきまして、水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成 28 年度に実施した事業（地方創生関連交付金事業及び総合戦略に位置付けた事業）の 1 次評価及び今後の取組方針等について、慎重に審議いたしました。

その結果、今後の事業推進に当たっての意見を下記のように提出いたしますので、これらの事項について十分検討されるよう要望いたします。

記

1 地方創生関連交付金事業について

- (1) 水戸市内の外国人宿泊者数が増えていることから、宿泊施設の稼働率など、外国人宿泊者のさらなる増加に向けた情報の積極的な把握に努め、一層の施策の展開を図られたい。
- (2) 中心市街地におけるエリア分析調査など、交付金事業における成果について、積極的な公表に努められたい。
- (3) 今後とも地方創生関連交付金など、国の補助制度等を積極的に活用しながら、各事業を推進されたい。

2 総合戦略に位置付けた事業について

- (1) スキルアップセミナー参加者数やセツ洞公園来園者数など、重要業績評価指標（K P I）の達成度が十分でない事業については、目標達成に向けて実効性のある事業内容となるよう、積極的な見直しを図られたい。
- (2) まちなか住替えを含む移住・定住の促進に向けては、住民等のニーズを的確に捉え、より実態に即した施策の展開を図られたい。
- (3) コンベンション誘致・支援など、実績を大きく伸ばしている事業については、その取組内容を高く評価する。今後も、関係機関等と連携しながら、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた取組を推進されたい。